

検査工事成績評定表(総合土木・3工種)

契 約 件 名				契約番号	狛契第	号
工 事 場 所				担当課名		
受 注 者				総括監督員		
契 約 日	年 月 日	契 約 金 額			主任監督員	
工 期	年 月 日 から	変 更 契 約 金 額			監督員	
	年 月 日 まで	完 了 日	年 月 日	検査員	(印)	
変 更 工 期	年 月 日 まで	検 査 日	年 月 日	検査主管課長	(印)	

評 定 項 目		施工管理				特記事項
細 目		施工管理	品質管理	出来栄え		
				出来形	出来栄え	
検査員	工種 1					
	工種 2					
	工種 3					
	平均					
重 要 度		1/6	1/6	3/6	1/6	
小計 (細目平均×重要度)						
合 計 (100点満点)						
合 計 (30点満点)						

- 1 評定は、土木主要工種で実施する。工種が工種1から工種3までの場合とし、工種4以上の場合には工種1として同様式を用いて行う。
- 2 各項目ごとに主要3工種の評定点を算出し、その平均点とする。それぞれ100点満点とする。なお、小数点以下第2位を四捨五入する。
- 3 各平均評定点に重要度を乗じ、それぞれ小数点以下第2位を四捨五入し、小計点及び合計点を算出する。
- 4 合計点に3/10を乗じ、工事成績判定の検査員評定点に集計する。この集計により工事成績判定表に評定点が全て記入される。

検査工事成績評定表(建築工種)

契 約 件 名				契約番号	狛契第	号
工 事 場 所				担当課名		
受 注 者				総括監督員		
契 約 日	年 月 日	契 約 金 額		主任監督員		
工 期	年 月 日 から	変 更 契 約 金 額		監督員		
	年 月 日 まで	完 了 日	年 月 日	検査員	(印)	
変 更 工 期	年 月 日 まで	検 査 日	年 月 日	検査主管課長	(印)	

評 定 項 目		施 工 管 理			特 記 事 項
細 目		施 工 管 理	品 質 管 理	出 来 栄 え	
				出 来 形	
検査員	工種 1				
	工種 2				
	工種 3				
	平均				
重 要 度		1/6	1/6	4/6	
小 計 (細目平均×重要度)					
合 計 (100点満点)					
工 事 成 績 判 定 評 定 点 (30点満点)					

- 1 評定は、建築主要工種で実施する。工種が建築のみ場合又は建築と機械、電気及び他の工種を含む場合に用い、工種4以上の場合は、工種1として同様式を用いて行う。
- 2 各項目ごとの評定点は、それぞれ100点満点とし、小数点以下第2位を四捨五入する。
- 3 各評定点に重要度を乗じ、それぞれ小数点以下第2位を四捨五入し、小数点及び合計点を算出する。
- 4 合計点に3/10を乗じ、工事成績判定の検査員評定点に集計する。この集計により工事成績判定表に評定点が全て記入される。

検査工事成績評定表(建築機械・3工種)

契約件名				契約番号	狛契第 号
工事場所				担当課名	
受注者				総括監督員	
契約日	年 月 日	契約金額		主任監督員	
工期	年 月 日 から	変更契約金額		監督員	
	年 月 日 まで	完了日	年 月 日	検査員	(印)
変更工期	年 月 日 まで	検査日	年 月 日	検査主管課長	(印)

評定項目		施工管理				特記事項
細目		施工管理	品質管理	出来栄		
				出来形	出来栄	
検査員	工種 1					
	工種 2					
	工種 3					
	平均					
重要度		1/6	1/6	3/6	1/6	
小計 (細目平均×重要度)						
合計 (100点満点)						
合計 (30点満点)						

- 1 評定は、建築機械主要工種で実施する。工種が工種1から工種3までの場合とし、工種4以上は工種1として同様式を用いて行う。
- 2 各項目ごとに主要3工種の評定点を算出し、その平均点とする。それぞれ100点満点とする。なお、小数点以下第2位を四捨五入する。
- 3 各平均評定点に重要度を乗じ、それぞれ小数点以下第2位を四捨五入し、小計点及び合計点を算出する。
- 4 合計点に3/10を乗じ、工事成績判定の検査員評定点に集計する。この集計により工事成績判定表に評定点が全て記入される。

検 査 工 事 成 績 評 定 表(建 築 電 気・2 工 種)

契 約 件 名				契約番号	狛契第 号
工 事 場 所				担当課名	
受 注 者				総括監督員	
契 約 日	年 月 日	契 約 金 額		主任監督員	
工 期	年 月 日 から	変 更 契 約 金 額		監督員	
	年 月 日 まで	完 了 日	年 月 日	検査員	(印)
変 更 工 期	年 月 日 まで	検 査 日	年 月 日	検査主管課長	(印)

評 定 項 目		施 工 管 理				特 記 事 項
細 目	施 工 管 理	品 質 管 理	出 来 栄 え			
			出 来 形	出 来 栄 え		
検査員	工種 1					
	工種 2					
	平均					
重 要 度		1/6	1/6	2/6	2/6	
小 計 (細目平均×重要度)						
合 計 (100点満点)						
工事成績判定合計(30点満点)						

- 1 評定は、建築電気主要工種で実施する。工種が工種1から工種2までの場合とし、工種3以上は工種1として同様式を用いて行う。
- 2 各項目ごとに主要2工種の評定点を算出し、その平均点とする。それぞれ100点満点とする。なお、小数点以下第2位を四捨五入する。
- 3 各平均評定点到重要度を乗じ、それぞれ小数点以下第2位を四捨五入し、小計点及び合計点を算出する。
- 4 合計点到3/10を乗じ、工事成績判定の検査員評定点到集計する。この集計により工事成績判定表に評定点到全て記入される。

検査成績評定項目別評定表(総合・土木)

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	施工管理	提出書類は、整っている。
		契約内容の変更及び承諾の処理は、適切に行われている。
		特記仕様書の規定は、守られている。
		材料搬入調書の数量は、必要数量入っている。
		施工管理記録が整理されている。
		工事記録写真は、撮影計画書のとおり行われ、撮影工種、撮影時期及び撮影方法とも適切である。
		各工種の施工過程は、仕様書等に基づいていることが確認できる。
		現場の組織及び体制が明確であり、かつ、現場代理人、主任技術者等が契約内容を熟知している。
		施工管理記録及び記録の整理に創意工夫が見られた。
		()
評定点		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	品質管理	材料の品質規格証明書(ミルシート、検査証明書等)は、整理されている。
		品質試験は、頻度及び項目とも必要数実施されており、結果は整理されている。
		品質試験の結果は、規格値を満たしている。
		使用材料の規格は、契約書と適合している。
		仕様書等の施工規定は、守られている。
		完成構造物について必要な試験が行われ、結果は規格値を満たしている
		使用機器のキャリブレーションは、行われている。
		品質管理についての工事記録写真が整理されている。
		品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。
		()
評定点		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来栄え (出来形)	出来高数量は、契約数量を満たしている。
		出来高数量の算出根拠は、整理されている。
		出来形の管理は、測定項目及び測定頻度とも仕様書等の規定を満足している。
		出来形管理の資料は、整理されている。
		出来形計測値は、規定値を満たしている。
		現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。
		自社の管理基準を設定し、管理が行われている。
		出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。
		出来形に関し創意工夫及び熱意が見られる。
		()
評定点		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来栄え (出来栄え)	構造物の形状外観及び通りは、良好である。
		構造物の表面の仕上げは、仕様書の規定のとおり行われている。
		構造物の表面に仕様書で規定されている欠陥がない。
		構造物の表面の仕上げは、丁寧で均一に行われている。
		隣接構造物との取り付け及びすり合わせは、良好である。
		構造物の仕上がりは、使用目的及び使用者の安全に配慮されている。
		目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。
		出来栄えに関し、創意工夫及び熱意が見られる。
		()
		評定点

- 各評価対象項目は、A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし、チェックボックスに各点数を入れる。
- 評定点は、下記の算式により算出する。(小数点以下第2位を四捨五入)

$$\frac{\text{評価した項目の得点合計}}{\text{評価した項目数} \times 3} \times 100$$
- 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せず空欄とする。
- 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

検査成績評定項目別評定表(土木)

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	施工管理	提出書類は、整っている。 契約内容の変更及び承諾の処理は、適切に行われている。 特記仕様書の規定は、守られている。 材料搬入調書の数量は、必要数量が入っている。 施工管理記録が整理されている。 工事記録写真は、撮影計画書とのおり行われ、撮影工種、撮影時期及び撮影方法とも適切である。 各工種の施工過程は、仕様書等に基づいていることが確認できる。 現場の組織及び体制が明確で、かつ、現場代理人、主任技術者等が契約内容を熟知している。 施工管理記録及び記録の整理に創意工夫が見られた。 ()
		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =
評定点		

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	品質管理	材料の品質規格証明書(ミルシート、検査証明書等)は、整理されている。 品質試験は、頻度及び項目とも必要数実施されており、結果は整理されている。 品質試験の結果は、規格値を満たしている。 使用材料の規格は、契約書と適合している。 完成構造物について必要な試験が行われ、結果は規格値を満たしている。 品質管理についての工事記録写真が整理されている。 建設副産物(発生土、廃棄物)の処理に伴う必要書類が提出されている。 建設廃棄物(コンクリート塊等)の処理は、マニフェストで監理されている。 設計図に示された機械により施工している。 施工箇所の湧水及び滞水の処理について管理されている。 土及び岩の分類の境界を確認、確認のための資料を整理、保管している。 掘削等の勾配は、安全衛生規則を遵守している。 盛土埋め戻し工は、適切に管理され、締め固め基準を満足している。 盛土埋め戻し工において一層の仕上がり厚が規定どおり管理されている。 盛土工において地盤表面の掻き均し、段切り等の処理が規定どおり管理されている。 切土工において斜面の挙動を監視しながら施工管理されている。 路床盛土の片切り、片盛りの接続部等は、適切に処理され管理されている。 土砂運搬工では過積載防止を遵守している。 品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。 ()
		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =
評定点		

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来栄え (出来形)	出来高数量は、契約数量を満たしている。 出来高数量の算出根拠は、整理されている。 出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書等の規定を満足している。 出来形管理の資料は、整理されている。 出来形計測値は、規定値を満たしている。 現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。 自社の管理基準を設定し、管理が行われている。 出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。 出来高は、土量の変化率を考慮し算出している。 土砂運搬の記録は、伝票処理されているか、又は、整理し出来高を算出している。 出来形に関し創意工夫及び熱意が見られる。 ()
		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =
評定点		

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来栄え (出来栄え)	法肩及び法尻線は、通っており丁寧に仕上げている。 法面は、バケット等により丁寧に仕上げられている。 掘削床付け面は、地山の乱れがなく丁寧に仕上げている。 切土面の浮き石は、除去され、掘削機の爪痕は残っていない。 切土法面と周辺の自然斜面とは、ラウンディングによりなじみよく仕上げている。 切土法面の切りすぎや切り不足がない。 盛土箇所の地盤表面の処理(伐根、除草など)が丁寧にされている。 盛土地盤は、余盛され水勾配が考慮されている。 盛土法面に水のにじみ出しやクラックが発生していない。 埋戻しに適さない石、不良土及び木くず等は、丁寧に排除されている。 埋戻し部分に陥没、表面のクラック等が発生していない。 切土、盛土にあたって既設構造物への影響を考慮し施工している。 構造物周辺等狭少部の転圧は、十分に行われている。 路床盛土は、ブルフローリング等で確認され、不良箇所は手直しされている。 目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。 出来栄えに関し、創意工夫及び熱意が見られる。 ()
		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =
評定点		

- 各評価対象項目は、A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし、チェックボックスに各点数を入れる。
- 評定点は、下記の算式により算出する。(小数点以下第2位を四捨五入)
 (評価した項目の得点合計)/(評価した項目数×3)×100
- 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せず空欄とする。
- 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

検査成績評定項目別評定表(コンクリート)

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	施工管理	提出書類は、整っている。 契約内容の変更及び承諾の処理は、適切に行われている。 特記仕様書の規定は、守られている。 材料搬入調書の数量は、必要数量が入っている。 施工管理記録が整理されている。 工事記録写真は、撮影計画書のとおり行われ、撮影工種、撮影時期及び撮影方法とも適切である。 コンクリートの打設計画書、配合報告書は、事前に提出されている。 搬入打設報告書により、数量、発車時刻、打設完了時刻が確認できる。 各工種の施工過程は、仕様書等に基づいていることが確認できる。 現場の組織及び体制が明確で、かつ、現場代理人、主任技術者等が契約内容を熟知している。 施工管理記録及び記録の整理に創意工夫が見られた。 ()
		$\frac{\text{各ランク計}}{\text{評価項目数}} \times 100 =$
	評定点	

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	品質管理	材料の品質規格証明書(ミルシート、検査証明書等)は、整理されている。 品質試験は、頻度及び項目とも必要数実施されており、結果は整理されている。 使用材料の規格は、契約書と適合している。 完成構造物について必要な試験が行われ、結果は、規格値を満たしている。 品質管理についての工事記録写真が整理されている。 型枠、支保工の取り外し時期について管理されている。 鉄筋の本数、配筋間隔、配置位置が図面どおりに管理されている。 耐震設計上の配筋規定(帯筋、中間帯鉄筋等)について管理されている。 スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりが管理されている。 スランブ試験等の現場試験結果は、全て規格値を満たしている。 コンクリートの圧縮試験は、指定機関で行われ、結果は全て規格値を満たしている。 気象条件に適した(寒中及び暑中を含む。)、運搬、打設、締固めについて管理されている。 コンクリート打継ぎ部の処理は、仕様書等の規定どおり管理されている。 コンクリートの打ち重ねは、仕様書等の規定どおり管理されている。 コンクリートの現場養生は、方法及び期間とも仕様書等の規定どおり管理されている。 コンクリートの打設区画割り(水平、垂直)は、仕様書等の規定どおり管理されている。 特殊コンクリートの施工にあたって、施工条件を遵守している。 品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。 ()
		$\frac{\text{各ランク計}}{\text{評価項目数}} \times 100 =$
	評定点	

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来栄え(出来形)	出来高数量は、契約数量を満たしている。 出来高数量の算出根拠は、整理されている。 出来形の管理は、測定項目及び測定頻度とも仕様書等の規定を満足している。 出来形管理の資料は、整理されている。 出来形計測値は、規格値を満たしている。 現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。 自社の管理基準を設定し、管理が行われている。 出来形測定の見え部分、工事記録写真により確認できる。 出来形に関し創意工夫及び熱意が見られる。 ()
		$\frac{\text{各ランク計}}{\text{評価項目数}} \times 100 =$
	評定点	

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来栄え(出来栄え)	構造物の形状外観及び通りは、良好である。 天場仕上げ、端部仕上げ等がよい。 コンクリート構造物の表面にジャンカ、アバタ等の欠陥がない。 クラックがない。 コールドジョイントがない。 型枠の目違いがない。 面取りは、適切に行われている。 コンクリート表面に、クギ・番線等が残っていない。 セパ穴の埋め忘れ、詰めモルタルの浮き上がりがない。 漏水がない。 コンクリート表面は、平滑で良く締固められている。 目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。 出来栄えに関し、創意工夫及び熱意が見られる。 ()
		$\frac{\text{各ランク計}}{\text{評価項目数}} \times 100 =$
	評定点	

- 各評価対象項目は、A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし、チェックボックスに各点数を入れる。
- 評定点は、下記の算式により算出する。(小数点以下第2位を四捨五入)

$$\frac{\text{評価した項目の得点合計}}{\text{評価した項目数} \times 3} \times 100$$
- 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せず空欄とする。
- 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

検査成績評定項目別評定表(街築工)

評定項目	細目	評価対象項目			
施工管理	施工管理	提出書類は、整っている。			
		契約内容の変更及び承諾の処理は、適切に行われている。			
		特記仕様書の規定は、守られている。			
		材料搬入調書の数量は、必要数量入っている。			
		施工管理記録が整理されている。			
		工事記録写真は、撮影計画書のとおり行われ、撮影工種、撮影時期及び撮影方法とも適切である。			
		各工種の施工過程は、仕様書等に基づいていることが確認できる。			
		現場の組織及び体制が明確で、かつ、現場代理人、主任技術者等が契約内容を熟知している。			
		施工管理記録及び記録の整理に創意工夫が見られた。			
		()			
評定点	各ランク計	評価項目数	×	100	=

評定項目	細目	評価対象項目			
施工管理	品質管理	材料の品質規格証明書(ミルシート、検査証明書等)は、整理されている。			
		品質試験は、頻度及び項目とも必要数実施されており、結果は整理されている。			
		品質試験の結果は、規格値を満たしている。			
		品質管理についての工事記録写真が整理されている。			
		使用材料の規格は、契約書に合致している。			
		コンクリート打設は、日々管理が行われている。			
		監督員立会の上、接地抵抗、絶縁抵抗及び塗膜厚測定が行われている。			
		道路標示工の施工にあたって、気温が規定値以下の時は、路面を予熱している。			
		道路照明等は、点灯試験や照度測定が行われている。			
		品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。			
()					
評定点	各ランク計	評価項目数	×	100	=

評定項目	細目	評価対象項目			
施工管理	出来栄え (出来形)	出来高数量は、契約数量を満たしている。			
		出来高数量の算出根拠は、整理されている。			
		出来形の管理は、測定項目及び測定頻度とも仕様書等の規定を満足している。			
		出来形管理の資料は、整理されている。			
		出来形計測値は、規定値を満たしている。			
		延長、幅、高さ及び基準高は、規格値を満たしている。			
		ソケット付管の布設は、上流側、又は高い側にソケットが向いている。			
		砂基礎及び管回りの遮断層用砂は、規定値どおり締め固めてある。			
		街路樹・控木が設計図どおり施工されている。			
		街きよ裏側基礎の寸法及びブロックの呑み込み寸法は、正しく仕上げられている。			
		柵の間隔が10m以上ある街きよは、柵間中央部のブロックの継ぎ目に合わせて施工目地が設けられている。			
		建築限界は、確保されている。			
		工事起終点の防護柵端部支柱の歩道側に必要事項が標示されている。			
		路面標示の施工幅は、均一にして凹凸のないように施工されている。			
		道路照明工の独立柱に接地工を施してある。			
		照明柱の基礎コンクリートは、1回打ちにしている。			
		工事起終点にネームプレートは、設置されている。			
		標識等の支柱に標示シールが付いている。			
		現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。			
		自社の管理基準を設定し、管理が行われている。			
出来形測定の見え部分、工事記録写真により確認できる。					
出来形に関し、創意工夫及び熱意が見られる。					
()					
評定点	各ランク計	評価項目数	×	100	=

評定項目	細目	評価対象項目			
施工管理	出来栄え (出来栄え)	管きよ、街きよ、縁石及び防護柵の通りは、正確に仕上がっている。			
		塩ビ管の接合は、専用滑剤等を塗布し所定の位置まで挿入しており、漏水が見られない。			
		管の継ぎ目に漏水はない。			
		管の継ぎ手にモルタルが十分に充てんされ、モルタルが管の内面に出ている。			
		排水舗装における排水用パイプの施工にあたっては、流末柵の孔に挿入してある。			
		人孔及び柵の側塊の目地から漏水がない。			
		人孔及び柵の蓋は路面にならい、なじみよく据付られている。			
		街きよの目地モルタルは、十分充てんされ、かつ突端部は面ゴテ仕上げになっている。			
		コンクリートブロックの上げ高さは、正しく施工されている。			
		街きよ及び側溝の流水面に滞水はない。			
		人孔、柵及び縁石の目地モルタルは、十分充てんされている。			
		縁石等の曲線部基礎コンクリートは、曲線にならって施工されている。			
		縁石等の曲線部と直線部の境界部は、なじみよく施工されている。			
		街路樹は、見栄え良く植え付けている。			
		ガードレールのビームの取り付けは、自動車進行方向に対してビーム端の断面が見えないように重ね合わせてある。			
		支柱やビームに取り付けるボルトは、ナットが正し位置で締め付けてある。			
		標識板等の向き、角度及び表示板と支柱の通り、傾斜等は適正である。			
		路面標示工の施工にあたって、施工路面の水分、砂塵等を取り除いてある。			
		端部処理は、良好である。			
		構造物へのすりつけ等は、良好である。			
全体的な仕上がり、外観及び納まり具合は、良好である。					
目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。					
出来栄えに関し、創意工夫及び熱意が見られる。					
()					
評定点	各ランク計	評価項目数	×	100	=

- 各評価対象項目は、A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし、チェックボックスに各点数を入れる。
- 評定点は、下記の算式により算出する。(小数点以下第2位を四捨五入)

$$\frac{\text{評価した項目の得点合計}}{\text{評価した項目数} \times 3} \times 100$$
- 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せず空欄とする。
- 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

検査成績評定項目別評定表(電線共同溝工)

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	施工管理	提出書類は、整っている。
		契約内容の変更及び承諾の処理は、適切に行われている。
		特記仕様書の規定は、守られている。
		材料搬入調書の数量は、必要数量入っている。
		施工管理記録が整理されている。
		工事記録写真は、撮影計画書のとおり行われ、撮影工種、撮影時期及び撮影方法とも適切である。
		各工種の施工過程は、仕様書等に基づいていることが確認できる。
		現場の組織及び体制が明確で、かつ、現場代理人、主任技術者等が契約内容を熟知している。
		施工管理記録及び記録の整理に創意工夫が見られた。
		()
評定点		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	品質管理	材料の品質規格証明書(ミルシート、検査証明書等)は、整理されている。
		品質試験は、頻度及び項目とも必要数実施されており、結果は整理されている。
		品質試験の結果は、規格値を満たしている。
		品質管理についての工事記録写真が整理されている。
		使用材料の規格は、契約書に合致している。
		電力ケーブル用管路導通試験は、全箇所合格している。
		通信ケーブル用管路導通試験は、全箇所合格している。
		通信ケーブル用管路接続性能試験は、全箇所規格値を満たしている。
		品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。
		()
評定点		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来栄え (出来形)	出来高数量は、契約数量を満たしている。
		出来高数量の算出根拠は、整理されている。
		出来形の管理は、測定項目及び測定頻度とも仕様書等の規定を満足している。
		出来形管理の資料は、整理されている。
		出来形計測値は、規定値を満たしている。
		管路の位置、延長及び高さ等は、規格値を満たしている。
		管枕の規格及び設置間隔は、適切である。
		管路部の埋め戻しは、規定値どおり締め固めてある。
		管路基礎工において、水締めを行われている(設計で計上している場合)。
		管路上部に設計図どおり、埋設シートを布設している。
		特殊部の位置及び高さは、規格値を満たしている。
		特殊部の底版中央部穴に砕石が敷いてある。
		現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。
		自社の管理基準を設定し、管理が行われている。
		出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。
		出来形に関し創意工夫及び熱意が見られる。
()		
評定点		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来栄え (出来栄え)	特殊部の連結金具のボルト締め付けは、しっかりされている。
		特殊部のブロック接続部に食い違いはない。
		管路の壁への接続部、取り出し分は良好に仕上げられている。
		受け金具は、しっかり固定されている。
		吊りボルトの穴は、埋めてある。
		特殊部等の蓋は、路面にならい、なじみよく据付られている。
		全体的な仕上がり、外観及び納まり具合は、良好である。
		目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。
		出来栄えに関し、創意工夫及び熱意が見られる。
		()
評定点		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =

- 1 各評価対象項目は、A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし、チェックボックスに各点数を入れる。
- 2 評定点は、下記の算式により算出する。(小数点以下第2位を四捨五入)

$$\frac{\text{評価した項目の得点合計}}{\text{評価した項目数} \times 3} \times 100$$
- 3 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せず空欄とする。
- 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

検査成績評定項目別評定表(アスファルト舗装)

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	施工管理	<input type="checkbox"/> 提出書類は、整っている。 <input type="checkbox"/> 契約内容の変更及び承諾の処理は、適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書の規定は、守られている。 <input type="checkbox"/> 材料搬入調書の数量は、必要数量が入っている。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録が整理されている。 <input type="checkbox"/> 工事記録写真は、撮影計画書のとおり行われ、撮影工種、撮影時期及び撮影方法とも適切である。 <input type="checkbox"/> 各工種の施工過程は、仕様書等に基づいていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工継ぎ目の構造は、監督員の承諾を受けている。 <input type="checkbox"/> 舗装作業の順序について、監督員に提出している。 <input type="checkbox"/> 樹脂系すべり止め舗装工の施工条件、施工方法、滑り抵抗の測定方法等について、監督員の承諾を受けている。 <input type="checkbox"/> 現場の組織及び体制が明確で、かつ、現場代理人、主任技術者等が契約内容を熟知している。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録及び記録の整理に創意工夫が見られた。 <input type="checkbox"/> ()
		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =
評定点		

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	品質管理	<input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書(ミルシート、検査証明書等)は、整理されている。 <input type="checkbox"/> 品質試験は、頻度・項目とも必要数実施されており、結果は整理されている。 <input type="checkbox"/> 品質試験の結果は、規格値を満たしている。 <input type="checkbox"/> 品質管理についての工事記録写真が整理されている。 <input type="checkbox"/> 使用材料の規格は、契約書と適合している。 <input type="checkbox"/> 基準密度は、監督員の承諾を受けている。 <input type="checkbox"/> 締め固めの終了後のブルーフローリング結果は、報告されている。(路床及び下層路盤) <input type="checkbox"/> コア採取により厚さの確認が行われている。 <input type="checkbox"/> コア採取により密度の確認が行われている。 <input type="checkbox"/> アスファルトの締め固め度、粒度、アスファルト量及び規格値を満たしている。 <input type="checkbox"/> 動的安定度(改質Ⅱ型)、滑り抵抗、平坦性、現場透水量等は、規格値を満たしている。 <input type="checkbox"/> 舗設状況報告書により到着温度、敷き均し温度、転圧終了温度及び解放温度が確認できる。 <input type="checkbox"/> 混合所発温度及び舗設開始温度を運搬車1台ごとに測定する。 <input type="checkbox"/> 適正温度で舗設作業及び交通開放が行われている。 <input type="checkbox"/> 施工継ぎ目の既設部分は、垂直に切り取って乳剤を塗布している。 <input type="checkbox"/> 施工継ぎ目の上層と下層は、同じ場所で重なっていない。 <input type="checkbox"/> セメント処理混合物層を上下2層として施工する場合は、同日内に施工している。 <input type="checkbox"/> アスファルト乳剤は、転圧終了直後、必要量を均等に散布している。 <input type="checkbox"/> 設置作業条件(雨天及び日平均気温)は、守られている。 <input type="checkbox"/> 路面構造物(街きよ等)接触面に瀝青剤が塗布されている。 <input type="checkbox"/> 滑り抵抗の測定は、施工後1週間以内に行っている。 <input type="checkbox"/> 品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。 <input type="checkbox"/> ()
		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =
評定点		

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来栄え(出来形)	<input type="checkbox"/> 出来高数量は、契約数量を満たしている。 <input type="checkbox"/> 出来高数量の算出根拠は、整理されている。 <input type="checkbox"/> 出来形の管理は、測定項目及び測定頻度とも仕様書等の規定を満足している。 <input type="checkbox"/> 出来形管理の資料は、整理されている。 <input type="checkbox"/> 出来形計測値は、規格値を満たしている。 <input type="checkbox"/> 路盤の基準高、幅及び厚さは、規格値を満たしている。 <input type="checkbox"/> アスファルトコンクリート層の基準高、幅及び厚さは、基準値を満たしている。 <input type="checkbox"/> 路床土を盛土する場合、一層の仕上がり厚さは、規定値を満たしている。 <input type="checkbox"/> セメント・石灰安定処理路床の基準高、幅及び厚さは、基準値を満たしている。 <input type="checkbox"/> クラッシュラン層の一層仕上がり厚さは、規定値以下になっている。 <input type="checkbox"/> セメント処理混合物層及び粒度調整碎石層の一層仕上がり厚は、規定値以下となっている。 <input type="checkbox"/> アスファルト処理混合物層の一層の仕上がり厚は、規定値以下となっている。 <input type="checkbox"/> アスファルトコンクリート層の一層の仕上がり厚は、規定値以下となっている。 <input type="checkbox"/> 現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。 <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定し、管理が行われている。 <input type="checkbox"/> 出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形に関し創意工夫及び熱意が見られる。 <input type="checkbox"/> ()
		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =
評定点		

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来栄え(出来栄え)	<input type="checkbox"/> 路床土の中の有害物及び不良箇所は、取り除かれている。 <input type="checkbox"/> 路盤表面のゴミ、泥及び浮き石等は、取り除かれ、乾燥している。 <input type="checkbox"/> 舗装の平坦性は、良好である。 <input type="checkbox"/> 端部処理は、良好である。 <input type="checkbox"/> 既設舗装へのすりつけ等は、良好である。 <input type="checkbox"/> 雨水処理は、良好である。 <input type="checkbox"/> 全体的な仕上がり、外観及び納まり具合は、良好である。 <input type="checkbox"/> 目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来栄えに関し、創意工夫及び熱意が見られる。 <input type="checkbox"/> ()
		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =
評定点		

- 各評価対象項目は、A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし、チェックボックスに各点数を入れる。
- 評定点は、下記の算式により算出する。(小数点以下第2位を四捨五入)

$$\frac{\text{評価した項目の得点合計}}{\text{評価した項目数} \times 3} \times 100$$
- 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せず空欄とする。
- 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

検査成績評定項目別評定表(コンクリート舗装)

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	施工管理	提出書類は、整っている。 契約内容の変更及び承諾の処理は、適切に行われている。 特記仕様書の規定は、守られている。 材料搬入調書の数量は、必要数量が入っている。 施工管理記録が整理されている。 工事記録写真は、撮影計画書のとおり行われ、撮影工種、撮影時期及び撮影方法とも適切である。 各工種の施工過程は、仕様書等に基づいていることが確認できる。 木製型枠を用いる時及び型枠を外す時期について、監督員の承諾を受けている。 鉄筋又は鉄網を入れているときの敷均し及び締め固め等について、監督員の承諾を受けている。 交通解放の時期については、監督員の承諾を受けている。 養生の方法及び期間(終了時期とも)については、適切に行われている。 現場の組織及び体制が明確で、かつ、現場代理人、主任技術者等が契約内容を熟知している。 施工管理記録及び記録の整理に創意工夫が見られた。 ()
		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =
	評定点	

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	品質管理	材料の品質規格証明書(ミルシート、検査証明書等)は、整理されている。 品質試験は、頻度及び項目とも必要数実施されており、結果は整理されている。 品質試験の結果は、規格値を満たしている。 品質管理についての工事記録写真が整理されている。 使用材料の規格は、契約書と適合している。 路盤の基準密度は、監督員の承諾を受けている。 締め固めの終了後のプルーフローリング結果は、報告されている。(路床及び下層路盤) 上層路盤の密度は、規格値を満たしている。 スランプ、空気量、曲げ強度、塩化物量及びアルカリ骨材反応は、測定されている。 吸引時の真空度は、規格値を満たしている。 真空処理作業は、コンクリートの表面仕上げ終了後、直ちに開始している。 吸引時間については、水セメント比、スランプ等を考慮して施工している。 吸引され水量は、監督員に報告されている。 真空処理の養生は、直ちに始まっている。 コンクリートの製造、運搬、作業条件、敷き均し締め固め、型枠設置及び平坦性は、各規定を準用している。 締め固め終了後、直ちに荒仕上げをし、引き続き平坦仕上げを行い、さらに粗面仕上げが行われている。 目地の位置は、あらかじめ型枠の上に表示してある。 品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。 ()
		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =
	評定点	

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来栄え(出来形)	出来高数量は、契約数量を満たしている。 出来高数量の算出根拠は、整理されている。 出来形の管理は、測定項目・測定頻度とも仕様書等の規定を満足している。 出来形管理の資料は、整理されている。 出来形計測値は、規格値を満たしている。 路盤の基準高、幅及び厚さは、規格値を満たしている。 厚さ及び路面の平坦性は、立会確認によって測定されている。 セメントコンクリート層の基準高、幅及び厚さは、基準値を満たしている。 路床土を盛土する場合、一層の仕上がり厚さは、規定値を満たしている。 コンクリートの敷き均し方法及び回数は、規定どおりである。 セメント及び石灰安定処理路盤の一層仕上がり厚は、規定値を満たしている。 クラッシュラン層の一層仕上がり厚さは、規定値以下になっている。 現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。 自社の管理基準を設定し、管理が行われている。 出来形測定の見え部分は、工事記録写真により確認できる。 出来形に関し創意工夫及び熱意が見られる。 ()
		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =
	評定点	

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来栄え(出来栄え)	路床土の中の有害物及び不良箇所は、取り除かれている。 路盤表面のゴミ、泥及び浮き石等は取り除かれ、乾燥している。 舗装の平坦性は、良好である。 クラックが無く、端部処理は、良好である。 既設舗装へのすりつけ等は、良好である。 雨水処理は、良好である。 全体的な仕上がり、外観及びおさまり具合は、良好である。 目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。 出来栄えに関し、創意工夫及び熱意が見られる。 ()
		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =
	評定点	

- 各評価対象項目は、A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし、チェックボックスに各点数を入れる。
- 評定点は、下記の算式により算出する。(小数点以下第2位を四捨五入)
 $(\text{評価した項目の得点合計}) / (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$
- 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せず空欄とする。
- 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

検査成績評定項目別評定表(公園・植栽)

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	施工管理	提出書類は、整っている。
		契約内容の変更及び承諾の処理は、適切に行われている。
		特記仕様書の規定は、守られている。
		材料搬入調書の数量は、必要数量が入っている。
		施工管理記録が整理されている。
		工事記録写真は、撮影計画書のとおり行われ、撮影工種、撮影時期及び撮影方法とも適切である。
		各工種の施工過程は、仕様書等に基づいていることが確認できる。
		現場の組織及び体制が明確で、かつ、現場代理人、主任技術者等が契約内容を熟知している。
		施工管理記録及び記録の整理に創意工夫が見られた。
		()
評定点		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =

評定項目	細目	評価対象項目		
施工管理	品質管理	材料の品質規格証明書(ミルシート、検査証明書等)は、整理されている。		
		品質試験は、頻度及び項目とも必要数実施されており、結果は整理されている。		
		品質試験の結果は、規格値を満たしている。		
		品質管理についての工事記録写真が整理されている。		
		使用材料の規格は、契約書と適合している。		
		植栽する樹木等は、搬入日に植えつけている。		
		品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。		
		()		
		評定点		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来栄え (出来形)	出来高数量は、契約数量を満たしている。
		出来高数量の算出根拠は、整理されている。
		出来形の管理は、測定項目及び測定頻度とも仕様書等の規定を満足している。
		出来形管理の資料は、整理されている。
		出来形計測値は、規格値を満たしている。
		園路・広場等の舗装の基準高、幅、厚さは、規格値を満たしている。
		休養・修景施設等の構造物の位置、延長、高さ、幅、厚さ等は、規格値を満たしている。
		幹周り、樹高、枝幅等樹木等の形状は、規定値を満たしている。
		現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。
		自社の管理基準を設定し、管理が行われている。
出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。		
出来形に関し創意工夫及び熱意が見られる。		
()		
評定点		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来栄え (出来栄え)	公園施設等の施工は、丁寧に行われている。
		ベンチ前面の足元地盤等については、水はけを良く地均して充分転圧している。
		ボルト等による締め付け箇所については、十分な締め付けがされている。
		木部及びコンクリート部の面取り・水切がされている。
		水勾配を考慮した施設設置が行われている。
		植栽等の施工は、丁寧で通日も良好である。
		控木の丸太は、防腐処理したものを使用している。
		控木、添木等の取り付け方法は、契約のとおり行われている。
		街路樹の樹幹は、垂直に建て込み、道路と平行になるよう見栄え良く植えつけている。
		土は、土塊、瓦礫、雑草等がない。
全体的な仕上がり、外観及びおさまり具合は、良好である。		
目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。		
出来栄えに関し、創意工夫及び熱意が見られる。		
()		
評定点		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =

- 1 各評価対象項目は、A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし、チェックボックスに各点数を入れる。
- 2 評定点は、下記の算式により算出する(小数点以下第2位を四捨五入)。

$$\frac{\text{評価した項目の得点合計}}{\text{評価した項目数} \times 3} \times 100$$
- 3 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せず空欄とする。
- 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

検査成績評定項目別評定表(しゅんせつ)

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	施工管理	提出書類は、整っている。
		契約内容の変更及び承諾の処理は、適切に行われている。
		特記仕様書の規定は、守られている。
		材料搬入調書の数量は、必要数量が入っている。
		施工管理記録が整理されている。
		工事記録写真は、撮影計画書のとおり行われ、撮影工種、撮影時期及び撮影方法とも適切である。
		各工種の施工過程は、仕様書等に基づいていることが確認できる。
		現場の組織及び体制が明確で、かつ、現場代理人、主任技術者等が契約内容を熟知している。
		施工管理記録及び記録の整理に創意工夫が見られた。
		()
評定点		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	品質管理	材料の品質規格証明書(ミルシート、検査証明書等)は、整理されている。
		品質試験は、頻度及び項目とも必要数実施されており、結果は整理されている。
		品質試験の結果は、規格値を満たしている。
		使用材料の規格は、契約書と適合している。
		関連示方書の施工規定は、守られている。
		完成構造物について必要な試験が行われ、結果は規定値を満たしている。
		品質管理についての工事写真が整理されている。
		目地板及び止水板の取付位置について管理されている。
		タイロットの位置及び鋼矢板の穿孔について管理されている。
		鉄線かごの石詰めは、規定どおり管理されている。
		根固めコンクリートブロックは、一連の番号が付され、管理されている。
		連結ナットは抜けない程度にネジ山をつぶし、施工管理されている。
		しゅんせつの作業区域は、表示され、範囲が確認されている。
		仕様書等に基づき、汚濁防止等の環境保全に十分留意し管理されている。
		品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。
		()
評定点		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来栄え(出来形)	出来高数量は、契約数量を満たしている。
		出来高数量の算出根拠は、整理されている。
		出来形の管理は、測定項目及び測定頻度とも仕様書等の規定を満足している。
		出来形管理の資料は、整理されている。
		出来形計測値は、規格値を満たしている。
		現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。
		自社の管理基準を設定し、管理が行われている。
		出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。
		出来形に関し創意工夫及び熱意が見られる。
		()
評定点		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来栄え(出来栄え)	構造物の形状外観及び通りは、良好である。
		構造物の表面の仕上げは、仕様書の規定どおりに行われている。
		隣接構造物との取付及びすり合わせは、良好である。
		目地板及び休止板は、丁寧に仕上げられている。
		型枠の目違いがない。
		コンクリートの面取りは、適切に行われている。
		しゅんせつ深度は、規格値どおり施工されている。
		しゅんせつの施工箇所と未施工箇所とのすりつけが良い。
		目視出来ない部分は、工事記録写真で確認できる。
		出来栄えに関し、創意工夫及び熱意が見られる。
		()
評定点		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =

- 1 各評価対象項目は、A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし、チェックボックスに各点数を入れる。
- 2 評定点は、下記の算式により算出する。(小数点以下第2位を四捨五入)

$$(\text{評価した項目の得点合計}) / (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$$
- 3 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せず空欄とする。
- 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

検査成績評定項目別評定表(PC橋)

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	施工管理	<input type="checkbox"/> 提出書類は、整っている。 <input type="checkbox"/> 契約内容の変更及び承諾の処理は、適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 特記仕様書の規定は、守られている。 <input type="checkbox"/> 材料搬入調書の数量は、必要数量が入っている。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録が整理されている。 <input type="checkbox"/> 工事記録写真は、撮影計画書のとおり行われ、撮影工種、撮影時期及び撮影方法とも適切である。 <input type="checkbox"/> 各工種の施工過程は、仕様書等に基づいていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場の組織及び体制が明確で、かつ、現場代理人、主任技術者等が契約内容を熟知している。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録及び記録の整理に創意工夫が見られた。 <input type="checkbox"/> ()
		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =
	評定点	

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	品質管理	<input type="checkbox"/> 材料の品質規格証明書(ミルシート、検査証明書等)は、整理されている。 <input type="checkbox"/> 品質試験は、頻度及び項目とも必要数実施されており、結果は整理されている。 <input type="checkbox"/> 使用材料の規格は、契約書と適合している。 <input type="checkbox"/> 完成構造物について必要な試験が行われ、結果は、規格値を満たしている。 <input type="checkbox"/> 品質管理についての工事写真が整理されている。 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合は承認され、試験練りの結果は、規格値を満たしている。 <input type="checkbox"/> 緊張方法、養生方法、気温、レミコン管理、緊張管理、グラウト管理等の記録は、整理されている。 <input type="checkbox"/> 型枠、中空型枠の寸法及び位置は、図面どおりに管理されている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋及びPC鋼材の本数、配筋間隔、配置位置、被り等が図面どおりに管理されている。 <input type="checkbox"/> ボンドレス区間の長さ及び構造が図面どおりに管理されている。 <input type="checkbox"/> 緊張装置のキャリブレーションは、行われている。 <input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張力及び伸び量は、規定値以内に納まり、その関係は直線となっている。 <input type="checkbox"/> 緊張時のコンクリート強度は、同一製作条件、養生で所定の強度であることが確認されている。 <input type="checkbox"/> 載荷試験は、規定通り行われ、荷重と変位の関係が整理されている。 <input type="checkbox"/> 品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。 <input type="checkbox"/> ()
		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =
	評定点	

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来栄え (出来形)	<input type="checkbox"/> 出来高数量は、契約数量を満たしている。 <input type="checkbox"/> 出来高数量の算出根拠は、整理されている。 <input type="checkbox"/> 出来形の管理は、測定項目及び測定頻度とも仕様書等の規定を満足している。 <input type="checkbox"/> 出来形管理の資料は、整理されている。 <input type="checkbox"/> 出来形計測値は、規格値を満たしている。 <input type="checkbox"/> 現地立会計測の結果は、管理資料の数値と整合している。 <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定し、管理が行われている。 <input type="checkbox"/> 出来形測定の不可視部分は、工事記録写真により確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形に関し、創意工夫及び熱意が見られる。 <input type="checkbox"/> ()
		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =
	評定点	

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来栄え (出来栄え)	<input type="checkbox"/> 緊張材の端部は、部材端面から規定値どおりに切りそろえられている。 <input type="checkbox"/> 部材端面の防錆処理は、図面どおり丁寧に行われている。 <input type="checkbox"/> 定着鉄筋の加工形状及び配筋位置は、規定どおり施工されている。 <input type="checkbox"/> PC鋼材の端部は、図面どおり丁寧に加工されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート面の形状外観及びびとおりは、良好である。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面には、コールドジョイント、ジャンカ、アバタ等の欠陥がない。 <input type="checkbox"/> コンクリート表面にクラックがない。 <input type="checkbox"/> コンクリートの面取りは、適切に行われている。 <input type="checkbox"/> コンクリート表面にクギ、番線等が残っていない。 <input type="checkbox"/> コンクリート表面は、平滑で良く締固められている。 <input type="checkbox"/> 横締め孔の仕上げは、丁寧に行われている。 <input type="checkbox"/> 目視できない部分は、工事記録写真で確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来栄えに関し、創意工夫及び熱意が見られる。 <input type="checkbox"/> ()
		各ランク計 / 評価項目数 × 100 =
	評定点	

- 各評価対象項目は、A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし、チェックボックスに各点数を入れる。
- 評定点は、下記の算式により算出する(小数点以下第2位を四捨五入)。
(評価した項目の得点合計)/(評価した項目数×3)×100
- 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せず空欄とする。
- 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

検査成績評定項目別評定表(建築工事)

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	施工管理	現場組織及び体制が明確であり、かつ、現場代理人、主任技術者等が契約内容を熟知している。
		施工計画及び施工要領書は、必要な項目が記載されている。
		施工図を作成し、監督員の承諾を受けている。
		実施工程表を作成し、必要に応じて修正をしながら、工程を管理している。
		施工計画及び施工要領書の記載内容と現場施工方法が一致している。
		産業廃棄物処理の書類が整理されている。
		契約内容の疑義及び不整合について監督員と協議している。
		契約内容の変更について監督員と現場協議している。
		工事記録写真が工種別に見やすく整理されている。
		工事記録写真の撮影位置や時期が適切で、施工過程が確認できる。
		官公庁届出等の必要関係書類が整理されている。
		施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。
		()
		()
各ランク計	評価項目数	
評定点	/	× 100 =

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	品質管理	杭材料の材料検査を実施し、規格又は性能を証明する資料が整理されている。
		鉄筋の材料検査を実施し、規格又は性能を証明する資料が整理されている。
		鉄筋の圧接試験結果が良好で、それを証明する資料が整理されている。
		コンクリートの調合及び強度が規格値を満足し、それを証明する資料が整理されている。
		鉄骨の材料検査を実施し、規格又は性能を証明する資料が整理されている。
		鉄骨の溶接検査結果が良好で、それを証明する資料が整理されている。
		建具の性能等級が設計図書を満足し、これを示す資料が整理されている。
		塗装の種類が設計図書の内容と合致し、これを示す資料が整理されている。
		仕上材料の性能試験を実施し、要求性能を証明する資料が整理されている。
		材料検査が適切な時期、内容で実施され、監督員の確認を受けている。
		品質管理に関する工事記録写真が整理されている。
		品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。
		()
		()
各ランク計	評価項目数	
評定点	/	× 100 =

評定項目	細目	評価対象項目		
施工管理	出来栄え(出来形)	杭芯のズレ、杭施工長さ等杭の精度が良好である。		
		鉄筋の配筋状態が良好なことが確認できる。		
		型枠内の清掃が行き届いており、はり、スラブ及び壁内に鋸くず、ゴミ等がない。		
		コンクリートの寸法精度(位置、断面寸法及び平坦さ)が良好である。		
		コンクリートの打ち上がり状態が良く、コールドジョイント及びジャンカが少ない。		
		鉄骨の建て入れ試験結果が良好である。		
		防水工事に関する納まり(水溜り、膨れ及び端部処理)は、良好である。		
		シーリング材が適材適所に使用され、納まりが良好である。		
		タイルの張り付け精度が良好で、工法は、設計図書の内容を満たしている。		
		木工事の取付け精度が高く、すき間、きしみ等の問題がない。		
		各仕上げ材料の表面仕上げや端部処理の状態は、良好である。		
		左官仕上げの状態に不陸及びクラックがない。		
		建具(ドア及びサッシ類)の可動部分の不具合がない。		
		ガラスの厚み、種類及び留め材の施工は、適切である。		
		戸当り、手すり及びハンドル類の取り付け位置等使い勝手への配慮がある。		
		塗装の塗り残し及びむらがない。		
		仕上げ塗装の塗布量が設計図書の塗布量を満足している。		
		仕上げ材料の取り付けは、精度が高く、バラツキがない。		
		設備工事との取り合いに係る問題がない。		
		適切な養生が行われ、汚れ及び傷がない。		
		適切なクリーニングが行われ、施工時の残材、ほこり等がない。		
		自社の管理基準による社内検査を実施し、これに合格している。		
		[改修]が外壁改修の設計数量と実施数量が把握され、それを示す資料がある。		
		出来形及び精度の確保に向けた、創意工夫が見られる。		
		出来栄えに関し、創意工夫及び熱意が見られる。		
		()		
		各ランク計	評価項目数	
		評定点	/	× 100 =

- 1 各評価対象項目は、A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし、チェックボックスに各点数を入れる。
- 2 評定点は、下記の算式により算出する。(小数点以下第2位を四捨五入)

$$(\text{評価した項目の得点合計}) / (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$$
- 3 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せず空欄とする。
- 4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

検査成績評定項目別評定表(機械工事の1)

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	施工管理	現場組織及び体制が明確であり、かつ、現場代理人、主任技術者等が契約内容を熟知している。
		施工関係書類が整理されており、現場で確認できる。(材料検査報告書、総合調整計画書等)
		産業廃棄物処理の書類が整理されている。
		施工計画及び施工要領書は、必要な項目が記載されている。
		施工計画及び施工要領書の記載内容と現場施工方法が一致している。
		他との調整は、十分に行っており、重要なものは記録している。
		契約内容の疑義及び不整合について監督員と協議している。
		契約内容の変更について監督員と協議している。
		工事記録写真が工種別に見やすく整理されている。
		工事記録写真の撮影位置や時期が適切で、施工過程が確認できる。
		官公庁届出等の必要関係書類が整理されている。
		関係法令に適合しているか確認を行い、官公庁と協議し適切に対応している。
		施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。
		()
		()
()		
各ランク計	評価項目数	
評定点	/	× 100 =

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	品質管理	資材の品質、形状及び規格を証明する資料が整理されている。
		社内検査を実施し、記録が整理されている。
		承諾図面が整理されていて内容も適切である。
		耐震計算書、防振計算書、その他計算書等が整理されていて内容も適切である。
		構造上重要な部分の強度が確保されており、それを証明する資料が整理されている。
		防錆、防食、防水、区画処理等に対する配慮が適切である。
		品質管理に関する工事記録写真が整理されている。
		主要機器の工場検査記録が整理されている。
		水圧、満水、気密、絶縁試験等施工の品質確認方法が適切である。
		水質、系統、流量、機能等試運転時の確認方法が適切である。
		速度、積載量、機能等試運転時の確認方法が適切である。
		機器又は器具の作動確認記録、運転調整記録、測定記録等が整理されている。
		品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。
		()
		()
()		
各ランク計	評価項目数	
評定点	/	× 100 =

- 各評価対象項目は、A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし、チェックボックスに各点数を入れる。
- 評定点は、下記の算式により算出する。(小数点以下第2位を四捨五入)

$$(\text{評価した項目の得点合計}) / (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$$
- 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せず空欄とする。
- 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。

検査成績評定項目別評定表(機械工事の2)

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来栄え (出来形) 共通部分	各材料, 規格及び寸法は, 設計図書に適合している。
		機器(ポンプ, 空調機等), その架台などの仕様及び数量に問題がない。
		機器, その架台等の取り付け方法が適切である。
		貫通部の処理等他との接点部分の施工が適切に行われている。
		塗装, 防錆等の仕様, 施工箇所及び範囲が適切である。
		外部から明視できない部分の出来形を写真その他記録等で確認できる。
		漏水, 異音, 異常振動, 保守不能等機能を損なうような異常がない。
		完了時総合試運転における試験及び機能確認内容が現場状況と一致している。
		諸官庁検査のあるものは, 検査を受け合格している。
		付属品及び納入品が用意されており, リストも整理されている。
撤去及び改修部分が設計図書に適合しており, 処置も適切である。		
()		
施工管理	出来栄え (出来形) 管工事 給水衛生 空調換気 冷暖房 水処理	器具(衛生器具, 制気口, サーモ等)の仕様・数量に問題がなく, 取付けも適正である。
		配管, ダクト, 電路等の仕様, 工法及びサイズが設計図書に適合しており, 現場状況とも調和している。
		配管, ダクト, 電路等の付属品(弁, ダンパ, 可とう継手, 計器, ボックス等)の仕様, サイズ及び数量が設計図書に適合しており, 取付けも適切である。
		配管, ダクト, 電路等の支持材の仕様, サイズ, 支持間隔及び勾配に問題なく堅ろう確実に取付けられている。
		配管の埋設深さ, 埋設方法及び勾配が適切である。
		各ます類及び蓋の仕様及びサイズが適切である。
		保温の仕様, 厚さ, 施工箇所及び範囲が適切である。
		冷媒などの封入記録が整理されており, 試運転前の作業と点検及び確認が適切である。
		システム及び施工全体での機能確認及び試運転調整の記録が整理され, 検査時に確認できる。
		()
施工管理	出来栄え (出来形) 運送機ほか エレベータ エスカレータ 機械駐車 水門 クレーン	構造体の構造, 仕様, 部材及び組立寸法に問題がない。
		ロープ, シープ, 歯車装置, シャフト, 配管等伝動部の仕様, サイズ及び固定方法が適切である。
		制御盤, 電路の取付及び固定方法が適切で, 堅ろう確実に取付けられている。
		付帯設備及び装備品の仕様は設計図書に適合しており, 固定方法も適切である。
		走行及び可動部分と他との位置及び離隔が適切であり, 安全上の配慮がなされている。
		調速及び制御装置が確実に作動し, それが確認ができる。
		リミットスイッチ, 地震感知器等の安全装置は, 確実に作動し, それが確認できる。
		連絡, 通報, 計測及び制御装置は, 確実に作動し, それが確認できる。
		試運転前の作業, 点検及び確認が適切である。
		()
各ランク計	評価項目数	
評定点	/	× 100 =

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来栄え	使用者に対する安全性等に配慮がされている。
		運転操作及び使い勝手に配慮がされている。
		耐久性及び機器等の更新が配慮がされている。
		保守, 修繕, 消耗品, 部品取替え等への配慮がされている。
		細部に至るまで仕上がり状態は, 良好である。
		機器及び器具の収まりがよく, 他との整合が取れている。
		配管, ダクト, 電路等配置が適切で, 収まり上無理がなく, 他との整合が取れている。
		施工に統一性が見られ, バラツキがない。
		表示, 標識等が適切にされている。
		騒音, 振動等が少なく, 円滑な運転が確保されている。
施工済み部分の養生が適切である。		
出来栄えに関し, 創意工夫及び熱意が見られる。		
()		
各ランク計	評価項目数	
評定点	/	× 100 =

1 各評価対象項目は, A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし, チェックボックスに各点数を入れる。

2 評定点は, 下記の算式により算出する。(小数点以下第2位を四捨五入)

$$(\text{評価した項目の得点合計}) / (\text{評価した項目数} \times 3) \times 100$$

3 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは, 評価せず空欄とする。

4 評価対象項目を追加することが妥当である工事は, 項目を追加する。

検査成績評定項目別評定表(電気工事)

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	施工管理	現場の組織及び体制が明確であり、かつ、現場代理人、主任技術者等が契約内容を熟知している。
		施工計画及び施工要領書の記載内容と現場施工方法が一致している。
		産業廃棄物の書類が整備されている。
		官公庁届出等の必要関係書類が整理されている。
		契約内容の変更について、監督員と協議している。
		契約内容の疑義及び不整合について、監督員と協議している。
		施工関係書類が整理されており、現場で確認できる。
		施工計画及び施工要領書は、必要な項目が記載されている。
		他との調整は、十分に行われており、重要なものは記録している。
		関係法令に適合しているか確認を行い、官公庁と協議し、適切に対応している。
工事記録写真が工種別に見やすく整理されている。		
工事記録写真の撮影位置や時期が適切で、施工過程が確認できる。		
施工管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。		
()		
各ランク計	評価項目数	
評定点	/	× 100 =

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	品質管理	資材の品質、形状及び規格を証明する資料が整理されている。
		製造者による機材の試験が的確に行われ、資料が整理されている。
		機器承認図と現場に設置された機器とが一致している。
		建築基準法、消防法その他関係法令で定められた資料及び機材を使用して施工されている。
		設計図書に明示された機能及び性能を証明する資料及び書類が整理されている。
		均一な施工がされている。
		社内検査を実施し、記録も整っている。
		耐震計算書その他必要な計算書類が整理されていて、内容が適切である。
		耐震計算書その他必要な計算書類が整理された結果に基づき、適切に施工されている。
		必要な施工の試験が実施され、記録が整理されており、測定値は基準を満足している。
品質管理についての工事記録写真が整理されている。		
品質管理及び記録の整理に創意工夫が見られる。		
()		
()		
()		
各ランク計	評価項目数	
評定点	/	× 100 =

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来栄え (出来形)	各機材の外観、構造及び寸法が設計値(設計図書)を満足し、バラツキが少ない(外観構造寸法検査)
		各機器の性能が試験機器を使用し、数値データの採取により、設計値(設計図書)を満足し、バラツキが少ない(性能検査)
		点滅、運転、停止等の作動について、施工した工事の全体又は部分が設計値(設計図書)を満足し、バラツキが少ない(機能検査)。
		建物、施設等の施工範囲及び施工範囲以外の設備も含めた全システムの総合試験が設計値(設計図書)を満足している。
		運転して、異音、異臭、過熱等の異常がない。
		諸官公庁検査のあるものは、検査を受け合格している。
		現場で試験確認のできない機器の品質及び施工は、関係法規に適合している。
		設計値(設計図書)の定めのない機器の品質及び施工は、関連法規に適合している。
		検査用測定機器の管理が適切である。
		人員の配置(検査体制)が適切である。
()		
()		
()		
各ランク計	評価項目数	
評定点	/	× 100 =

評定項目	細目	評価対象項目
施工管理	出来栄え (出来栄え)	堅ろうで誤差がなく、設計図書どおり正確に施工されている。
		寸法にバラツキがなく、設計図書どおり施工されている。
		品質、形状及び数量が適切に施工されている。
		施工完了時の検査及び記録が適切である。
		設計図書及び関係法規に適合している。
		きめ細かな施工がされている。
		関連工事との調整がされ、全体に調和が取れた仕上がりである。
		建築電気設備としての品質及び性能が確保されている。
		使用者に対する安全性などへの配慮が適切である。
		運転及び保守点検に対する配慮が適切である。
出来栄えに関し、創意工夫及び熱意が見られる。		
()		
()		
()		
()		
各ランク計	評価項目数	
評定点	/	× 100 =

- 各評価対象項目は、A(3点)・B(2点)・C(1点)・D(0点)の4段階評価とし、チェックボックスに各点数を入れる。
- 評定点は、下記の算式により算出する。(小数点以下第2位を四捨五入)

$$\frac{\text{評価した項目の得点合計}}{\text{評価した項目数} \times 3} \times 100$$
- 評価対象項目のうち対象工事の内容に合致しないものは、評価せず空欄とする。
- 評価対象項目を追加することが妥当である工事は、項目を追加する。